令和５年 11 月　30 日

社会福祉法人いずみ　ひまわり（児童発達支援）

令和５年度 ひまわり（児童発達支援）　自己評価に対する検討結果

アンケート実施期間：令和５年 10 月

	アンケート結果	改善目標、工夫している点
環境・体制整備	「スペースが十分に確保されているか」 職員１名より「いいえ」の回答があった。しかし、保護者より「模様替えをしたりして、使いやすいように考えていると思う」「複数の部屋を使えている」と意見があった。 「生活空間について」 保護者より、「日付や天気などが大きく太く色もついていて見やすい」「本人の状況に合わせて考えてもらっている」と意見があった。	定員の５名が登園すると手狭に感じられることもあるが、戸外活動や他の部屋を使用する事で、広く活動ができるようにした。また、収納を整理して使用しやすいように工夫した。 壁面や模造の木は、季節・イベントごとに利用児が制作したものやイラスト・文字などを装飾している。 今後も、利用児の活動性や好みの活動を考慮して、限られたスペースを有効に活用し、環境整備を行っていく。
	「職員配置の配置数が適切であるか」 職員１名より「いいえ」の回答があった。しかし、保護者より「助言をもらえている」「人数も専門も充実している」と意見があった。	職員数に対しては必要時に配置する様にしていた。引き続き利用児の安全が確保できるように、活動の内容を考慮したり人員配置を工夫したりしていく。 各専門職が日常的に情報交換を行い、適宜保護者への情報提供や相談に乗ることをしている。

業務改善	「外部評価について」 職員より「いいえ」の回答が多数だった。	前回の評価と同様。 事業者向並びに保護者向自己評価表を実施している。結果は回覧や配布により周知、またホームページで報告している。今後も継続して実施していく予定。 第三者による外部評価は未実施。まずは、自己評価の結果を踏まえて支援の向上につなげていく。 外部評価の実施については、今後検討していく。
適切な支援の提供	保護者より 「児童発達支援計画に沿った支援が行われているか」では、「不安や悩みに合わせて随時対応してもらえている」と意見があった。 「活動プログラムが固定しないよう工夫されているか」では、「様々な体験ができている」「個人や体調に合わせた活動をしている」と意見があった。 「子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか」では、「細かく気にかけてもらい、情報も伝えてもらっている」など多数意見があった。 「子どもや保護者からの相談や申し入れ」については、「相談すると迅速に対応してくれる」と意見があった。 「保護者同士の連携が支援されているか」では、「保護者と交流ができて、心強い・楽しい」と意見があった。	日常における支援では、個々の特徴に合わせたり偏りがないようにしたりして活動を行っている。必要に応じて、人数を分けて別の活動を行っている。 保護者との情報共有も行い、コミュニケーションをとって声を掛けやすい雰囲気を作っている。 また、保護者との面談や整形診などの結果を職員間で回覧して共有している。 親子参加行事や保護者会などを定期的に実施することで、保護者間での交流の場にもなっている。

	「保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子供と活動する機会がある」では、「コロナで難しいため、落ち着いたら交流をしたい。」と意見があった。職員からも同様の意見があった。	コロナ感染症の影響で、法人内での交流は行ったが他施設との交流は行わなかった。来年度は他施設との交流の計画があるため、感染の動向を見極めながら感染の拡大がないように行う。
非常時等の対応	職員より 「マニュアルなどを策定し、周知し、訓練を実施」については、「不審者対応や感染症（嘔吐を伴う）は実施できていない」と意見があった。 「食物アレルギーの対応」については、「指示書が必要なアレルギー対応はなし」と意見があった。	避難訓練については行っているが、その他の訓練は行っていない。 様々な非常時の想定で、マニュアルの確認や訓練の実施を検討する。 食物アレルギーがある・疑いの子どもについては、持参のお弁当を摂取している。そのため指示書が必要にはなっておらず、指示書による対応は行っていない。 加工や食事介助で他の子どもの食べ物が混入する・誤提供などの可能性もあるため、引き続きひとり一つのトレーを使用して、事故がないように支援を行う。
満足度	保護者より ・「子どもは通所を楽しみにしているか」では、「大好きな場所」「楽しんでいる」と多数意見があった。 ・「事業所の支援に満足しているか」では、「満足している」「親子ともに楽しんでいる」と多数意見があった。	保護者の満足度は高いため、支援の質を維持しながら、利用児の成長や保護者の意向の変化に合わせて、支援の内容を更新していく。

以上